

開学 65 周年記念事業実施報告

I イベント部会

1 開学 65 周年記念式典の開催

- (1) 日時 平成27年10月31日（土） 13時～17時45分
- (2) 会場 名古屋市立大学 田辺通キャンパス 宮田専治記念ホール、大講義室（サテライト会場）
- (3) 内容
 - ・学長挨拶・来賓祝辞等
 - ・開学65周年宣言
 - ・記念講演会「考える人として生きる」：林 修 氏
 - ・記念シンポジウム 第一部 本学の取り組み発表
第二部 各学部・研究科 未来プラン概要発表
- (4) 参加者数 410名



2 開学 65 周年記念事業 冠イベントの開催

本学が関わる各イベントについて、「開学 65 周年記念事業」の冠をつけ、次のとおり開催するとして、開催経費の一部について支援した。

平成 27 年度：「東（東南）アジア地域の生物多様性・環境医科学シンポジウム 2015」（7 月 16 日、17 日）はじめ 50 イベント

平成 28 年度：「薬草園の市民公開」（5 月 13 日、14 日、9 月 16 日、17 日）はじめ 11 イベント

平成 29 年度：「特別市民公開講座「大学発！ハッピー子育て講座」」（9 月 13 日、20 日、10 月 18 日）はじめ 4 イベント

II 映画製作・広報部会

1 開学 65 周年記念映画

- (1) 制作 芸術工学部映像研究室（栗原康行教授）
- (2) タイトル 「儂時計（ゆめどけい）」
- (3) 企画概要 戦後復興期の昭和 25 年と平成（現代）を舞台に 65 年の時を経て現代の便利さがもたらしたものと失ったものや家族や友情や心の絆をテーマに、かつての時代（激動の昭和初期）や大学の在り方に学ぶべきものや現在に失ったものなどの問題点を対比させて描き考察してゆく物語。
- (4) 上映会 ① 平成 28 年 3 月 18 日（金） 19 時～
 ・ミッドランドスクエアシネマ シアター 1
 劇中の音楽について、作編曲は芸術工学研究科の水野みか子教授が、演奏は名古屋市立大学管弦楽団がそれぞれ担当。
- ② 平成 28 年 6 月 15 日（水） 18 時～
 ・桜山（川澄）キャンパス さくら講堂
 本企画の開催にあたり、役員会・部局長会での周知、学内及び地下鉄桜山駅へのポスター設置等、教職員・学生等への周知を行った。
- ③ 平成 28 年 11 月 13 日（日） 14 時～
 ・滝子（山の畑）キャンパス 3 号館 101 教室
 3 回目の上映会となり、本学教職員や関係者の他、地域住民に向けても幅広く上映する機会として 28 年度市大祭にて実施



ポスター表



ポスター裏

2 シンボルマーク・カラーの検討・整理

これまで在校生・卒業生に愛されてきた3つのマークについて、それぞれ活用場面を以下のように定義した。

- ・学位記などオフィシャルなものは学章
- ・名刺や名札など、他校との差別化を図りたい場合はNCUマーク
- ・医学部、薬学部由来である本校の伝統を象徴するハートマークは、それぞれの同窓会を中心にご使用いただく



学章



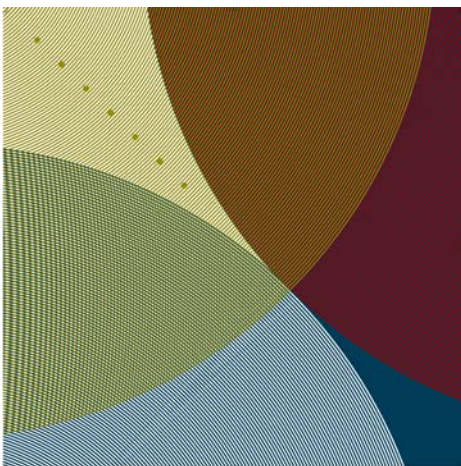
NCUマーク



ハートマーク

3 オリジナルグッズの作製

- ・芸術工学研究科の藤井尚子准教授デザインの風呂敷を1,000枚作製した。
- ・平成27年10月31日の記念式典において、来賓及び招待者に進呈した。



風呂敷デザイン

デザインの説明

本学の歴史を円弧の連なりによる「年輪」に見立て、新たな節目を迎え、さらなる発展を表す広がりのあるデザインのふろしきである。

弧線と弧線の重なり合いは、教員と学生の教え・教わる関わりのなかでの「響き」、世界をリードする研究拠点としての「響き」、地域と共鳴・協働しあうことで生まれる「響き」といった、多様な協奏の豊かな可能性を表している。

【サイズ】750mm×750mm

【素材】ポリエステルアムゼン

【技法】シルクスクリーンプリント、絞り（から絞り）

4 その他 65 周年記念事業の広報

(1) マスコミ懇談会の開催

- ・日時 平成 27 年 7 月 15 日 (水) 15 時～18 時
- ・場所 サクラサイドテラス
- ・参加 在名 6 社から 7 名参加
- ・概要 開学 65 周年、人文社会学部・芸術工学部 20 周年の各記念事業の P R

(2) 創新 (65 周年記念号)

- ・11 月末発行 4 ページ増

(3) その他

①新聞・雑誌 広告

- ・平成 27 年 4/28 朝日新聞 別冊大学広告特集 (朝刊に折り込み)
- ・平成 27 年 7/8 週刊東洋経済 臨時増刊「動き出す世界の名古屋 2015」
- ・平成 27 年 7/25 週刊朝日 進学 MOOK「東海の大学力 2016」
- ・平成 27 年 8/8 瑞穂フォーラム
- ・平成 27 年 9/17 ホームニュースしょうわ
- ・平成 27 年 9/29 週刊エコノミスト 臨時増刊「ザ・名古屋 vol. 8」
- ・平成 28 年 3/29 毎日新聞「大学フォーラム」

②バナー・横断幕、のぼり、ポスターほか



バナー・横断幕



のぼり・ポスター

5 開学 70 周年に向けた広報事業 (平成 29 年度実施)

(1) バナーサインの製作・設置

大学や病院を訪れるお客さまなどに対して P R するため、地下鉄桜山駅 3 番出入口から病院玄関までの通路に設置しているバナーサインに、「2020 年は開学 70 周年」のコピーを加え、デザインをリニューアルした。(2018 年 4 月から 2020 年 3 月まで設置予定)

(2) 新聞への広告掲載

毎日新聞中部本社版の平成 30 年 3 月 29 日の朝刊に、「2020 年は開学 70 周年」のコピーを掲載した広告を掲載した。

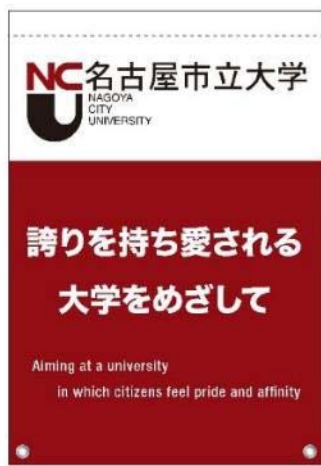
(3) ポスターの製作

各キャンパスや地下鉄桜山駅等への掲示、また入試説明会や各種イベントなどさまざまな機会に活用できる大学のポスター

を製作した。ポスターには、開学 70 周年の周知を図るため、「2020 年、名古屋市立大学は開学 70 周年を迎えます」というコピーを掲載した。



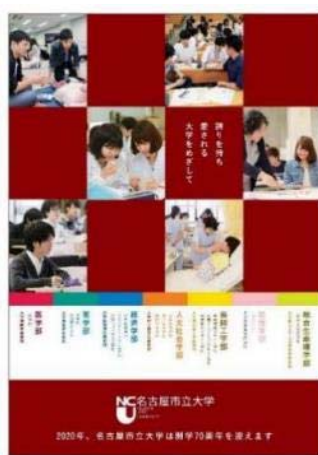
バナーサインのデザイン表



バナーサインのデザイン裏



バナーサインのデザイン掲示例



ポスターデザイン

名古屋市立大学

2020年は開学70周年

きめ細やかで温もりのある教育の実践

名古屋市立大学は、名古屋養正学校(1884年設置)と名古屋市立女子高等医学専門学校(1943年設置)を源流とし、1950年に設置された公立大学です。本学は、その流れをくみ、医学部、薬学部、看護学部の医歯系3学部を有する、東海地区唯一の大学であり、また、平成前期に地元経済界からの要請で設置された経済学部と、他大学には見られないユニークな活動をしている人文社会学部、芸術工学部、2019年には新設される総合生命理学部を加えた7学部7研究科の都市型総合大学として発展してきました。

基礎科学を総合的に学び、次世代につなげる
2018年4月、総合生命理学部を新設

近年、国や産業界から高度人材育成の必要性が指摘されていますが、その一方で愛知県内には理学系学部が少なく、優秀な人材が国外に流出していると考えられます。本学では、既存の理学系大学院「システム自然科学研究科」の下に、総合生命理学部を設置し、医歯系3学部と連携を強化しながら、グローバルな視野で次世代の科学を担う人材を育成します。

■医 学 部	医学科
■医 学 部	薬学科/生命医科学科
■経 済 学 部	公共政策学科 マネジメントシステム学科 会計ファイナンス学科
■人文社会学部	心理教育学科/現代社会学科 国際文化学科
■芸術工 学 部	情報環境デザイン学科 産業イノベーションデザイン学科 建築都市デザイン学科
■管 理 学 部	管理学科
■総合生命理学部	総合生命理学科
■大 学 院	医学研究科/薬学研究科/経済学研究科 人間文化研究科/芸術工学研究科 看護学研究科/システム自然科学研究科

桜山(川澄)キャンパス
〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

渡子(山の畑)キャンパス
〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1

田辺通キャンパス
〒467-8603 名古屋市瑞穂区田辺通3-1

北千種キャンパス
〒464-0083 名古屋市千種区北千種二丁目1-10

URL <http://www.nagoya-cu.ac.jp/>

毎日新聞 広告掲載

Ⅲ 教育・学生・地域連携部会

1 名古屋市立大学管弦楽団第 60 回定期演奏会

(1) 日時 平成 27 年 12 月 27 日 (日) 開場 16 時 45 分 開演 17 時 30 分

(2) 会場 愛知県芸術劇場コンサートホール

(3) 出演 客演指揮 田尻真高

演奏 名古屋市立大学管弦楽団

ソプラノ 百々 あずさ

アルト 小林 由佳

テノール アレッサンドロ・リネッラ

バリトン ロベルト・コラー

合唱 名市大第九合唱団

※教職員、学生、OB・OG、その家族などを中心に公募で集まった
140 人で結成。指導は本学医学研究科の鈴木貞夫教授

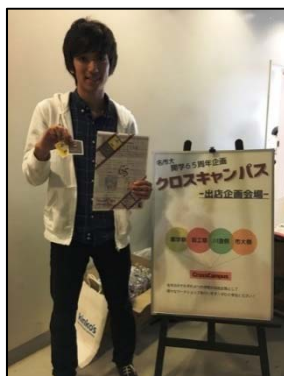
(4) プログラム L.v. ベートーヴェン 交響曲第 9 番ニ短調作品 125 ほか

(5) 参加 1,800 人 (満員)



2 大学祭 クロスキャンパス企画

個性やテーマの違う 4 キャンパスの魅力ある大学祭へ、より多くの方に足を運んでもらうとともに、開学 65 周年を PR するため、4 つの大学祭すべてにそれぞれのキャンパスの企画ブースを出展し、シールラリー (スタンプラリー方式) 等を平成 27 年度から 3 年連続で実施した。



3 “地域とすこやか・なごやかトーク”

御劔学区の皆さんと名市大学生とのおしゃべり茶話会

地域と学生とがお互いを知る機会を設けることで、学生にあっては地域コミュニティや地域活動に対して理解を深めるきっかけとなり、地域にあっては大学や学生の活動を知り、今後の連携・協力のきっかけや活動のヒントとしていただく機会として、平成27年度から3年連続で実施した。



4 第3回教育改革フォーラム

- (1) 日 時 平成28年2月5日(金) 午後2時～4時30分
- (2) 会 場 桜山(川澄)キャンパス 医学部研究棟11階 講義室A
- (3) テーマ 「名古屋市立大学の教育を考える」
- (4) 概 要 平成28年4月から本学の教養教育が変わり、全ての専任教員によって担われる教養教育が始まる。そこで研究科・学部を超えて、全ての大学教員が真剣に受け止めなければならない大学教育と名市大教育の課題について、学外のパネリストの視点を交えて共に考える場として開催した。



5 開学記念日一斉清掃

(1) 事業概要

「開学 65 周年を迎える本学の美観向上を達成し、“おもてなし”の精神で大学祭を成功させたい」という趣旨から、学友会が企画・発案し、開学記念日に学生・教職員等が力を合わせて“一斉大掃除”を実施した。

(2) 実施概要

キャンパス内共用部分、普段学生が使用する共用スペース（学生会館、体育館、格技場ほか）などの清掃・ごみ拾い・草むしり等について、4キャンパスで総勢 1,000 名以上の方が参加した。

キャンパス	開催日	参加人数（概数）
川澄	平成 27 年 10 月 28 日	220 名
山の畑	平成 27 年 10 月 28 日	590 名
田辺通	平成 27 年 10 月 28 日	70 名
北千種	平成 27 年 10 月 24 日 11 月 4 日 (芸工祭前後)	130 名（両日合計）
合計	-	1,010 名

【備考】参加人数は、学生・教職員等の合計



IV 施設整備部会

1 山の畑キャンパスプロジェクト-学生会館南側周辺整備工事の実施

(1) 経緯・概要

本工事は、「場所も人も明るいキャンパス」・「たまり場で学友と自由に語り合えるキャンパス」の実現を目指し、実施した。

<学生会館南側整備の構想>

- ・学生会館の南側を学生が集い、語り合える場にする。
- ・ソテツの石垣を取り囲むように、円形の階段広場のデザインし、学生たちが集まりやすく賑わい・交流が生まれるイメージとする。
- ・ソテツ石垣の方形と円形のデザインが対比的であり、それぞれが引き立つようにする。

(2) 検討から工事まで

- ・平成26年度～平成29年度：図面等の検討、WGの開催
- ・平成29年度1月：工事着工
- ・平成29年度3月：工事完了

(3) 工事内容

- ・千種区の鍋屋上野浄水場で100年以上前から使われていた約2万個のレンガを譲り受け、コンクリート敷きであったソテツの植え込み周辺に敷き詰めた。
- ・排水の流れを考慮し、中央部分にかけて緩やかな勾配を設けた。

<完成写真>



2 その他の工事

- ・川澄キャンパス厚生会館(生協)の庇の改修工事
- ・学生用無線ネットワークの整備
- ・学生会館トイレ改修
- ・山の畑キャンパス案内板の整備
- ・総合情報センター山の畑分館 アクティブ・ラーニング・スペースの整備

V 基金推進部会

1 受入寄附金額 (H30. 3. 31 現在)

32,517,854 円

2 取組

(1) 『開学 65 周年記念事業のご案内 寄附のお願い』パンフレットの作成及び配布

パンフレットを 30,000 部印刷し、各同窓会等を通じて配布した（一部、事務局からの直接発送あり）。

各種イベントにおいてもパンフレットを配布し、イベント参加者に事業の周知を行った。

(2) 大学振興基金のオンライン寄附受付の導入

従来の、専用振込依頼書を用いて金融機関で納付する方法に加え、インターネットによる、オンライン寄附受付を導入し、日時を選ばず、自宅から手軽に寄附をすることを可能とし、寄附者の利便性の向上を図った。

(3) 広報誌「創新」別冊の発行

開学 65 周年記念事業へご寄附いただいた方のご芳名を掲載するために、広報誌「創新」の別冊を作成し、本冊子に織り込み配布・公表した。また、本学の 65 周年記念事業サイトにも、PDF データを掲載した。



(4) 寄附者銘板の制作・設置

開学 65 周年記念事業並びに連携事業として行った人文社会学部創立 20 周年記念事業及び芸術工学部 20 周年記念事業の寄附者銘板をそれぞれ作成し、設置した。

① 開学 65 周年記念事業寄附者銘板

設置場所：桜山キャンパス本部棟 4 階ロビー壁面



※開学 60 周年記念事業寄附者銘板と並べて設置した。

② 人文社会学部創立 20 周年記念事業寄附者銘板

設置場所：滝子キャンパス 1 号館 1 階玄関ホール壁面



③ 芸術工学部 20 周年記念事業寄附者銘板

設置場所：北千種キャンパス管理棟 1 階入り口壁面

